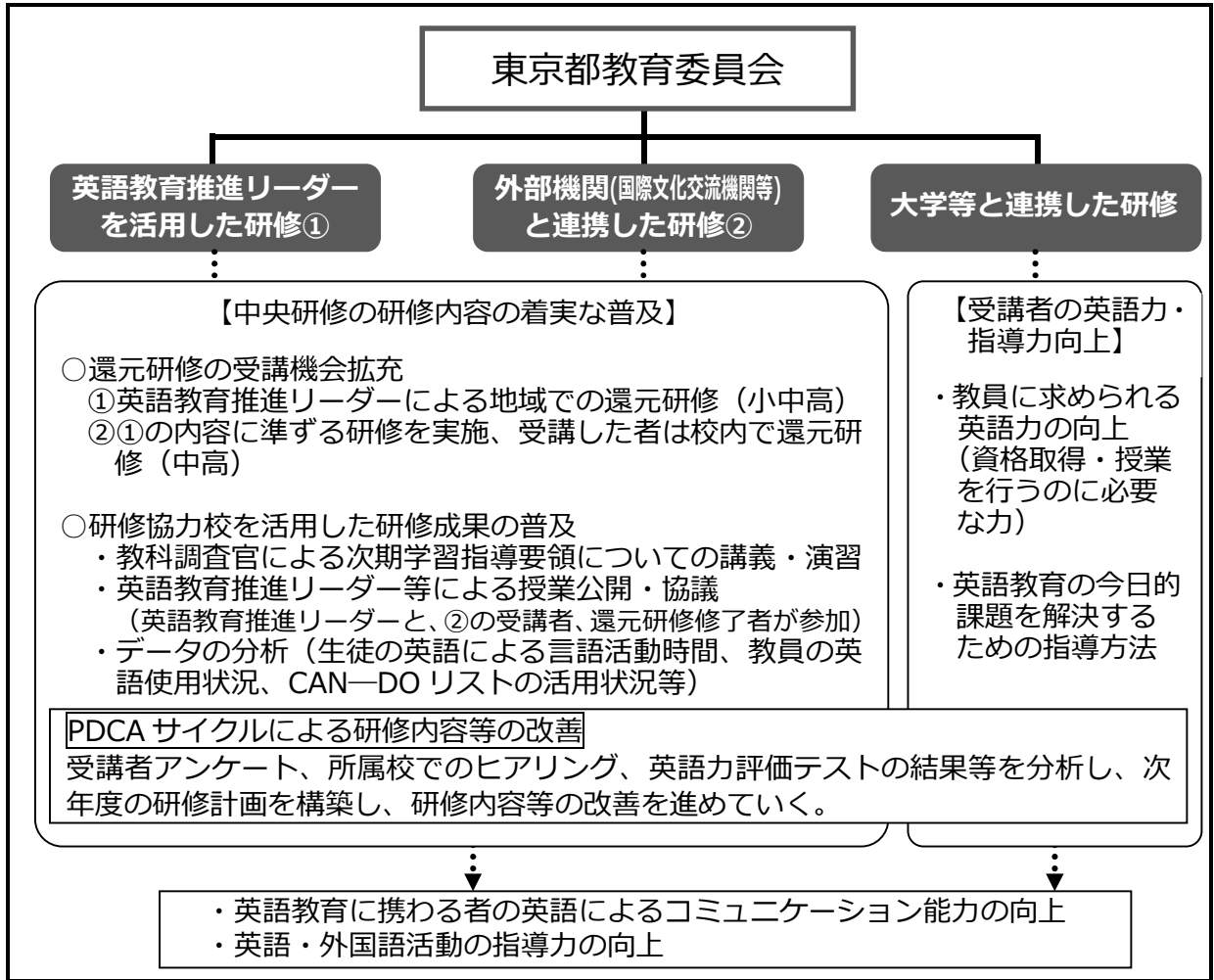


# 東京都英語教育改善プラン

## 実施内容

## (1) 研修体制の概要



## (2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

## 1 数値目標

## (1) 高等学校及び中学校

## ① 求められる英語力を有する教師の割合（％）

東京都は平成 26 年 12 月に「東京都長期ビジョン」を策定し、「世界をリードするグローバル都市の実現」を都市戦略に掲げた。そして、その政策指針として、「東京、そして日本を支える人材の育成」を掲げ、平成 32 年までに「英検準 1 級、TOEFLiBT80 点以上」の英語能力をもつ英語科教員の割合を高等学校で 85%以上、中学校で 60%以上となることを目指している。

平成 28 年度は、高等学校の目標値を 75%、中学校の目標値を 50%に掲げ、研修体制の充実に向け取り組んだ。平成 29 年度は平成 28 年度の結果を踏まえ、高等学校の目標値を 80%、中学校の目標値を 55%として研修体制の充実等に取り組む。

## ② 求められる英語力を有する生徒の割合（％）

前掲の「東京都長期ビジョン」において、東京都は、おおむね 10 年後までに「高校卒業段階で、日常生活に必要な英語力（英検準 2 級程度）を習得」させることの実現を目指しており、生徒の英語力向上を図る研修の充実を一層推進している。国が示した目標値「高校卒業段階に英検準 2 級～2 級程度以上 50%」「中学卒業段階に英検 3 級程度以上 50%」を踏まえ、平成 28 年度は、高等学校の目標値を 45%、中学校の目標値を 56%とし、取組をすすめた。平成 29 年度は平成 28 年度の結果を踏まえ、高等学校の目標値を 55%、中学校の目標値を 58%として授業改善等に取り組む。

## ③ 学習到達目標の整備状況（設定・公表・達成状況の把握）

東京都教育委員会は、平成 24 年 2 月に新たに策定した「都立高校改革推進計画第一次実施計画」に、「都立高校学力スタンダード」策定事業を掲げ、平成 25 年 3 月に具体的な学習目標を示した「都立高校学力スタンダード（平成 25 年度版）」を作成した。また、新たに精査・改訂された平成 26 年度版では、「現代文 B」、「世界史 A」、「数学Ⅱ」等、8 科目の中に「コミュニケーション英語Ⅱ」を加え、内容の充実を図っている。英語科における学習到達目標、いわゆる CAN-DO 形式での整備状況となると現状としては高い数値とは言えないが、平成 27 年度は、学力スタンダードを実施する全ての都立高校において高校入試等の分析結果や前年度の学力スタンダード学力調査問題分析結果に基づき、自校の「学力スタンダード」を作成させ、HP に公表させている。学習到達目標の設定、公表、達成状況の把握目標値としては、平成 28 年度は、高等学校で 70%、中学校で 40%とし、取組を進めた。平成 29 年度は高等学校、中学校ともに 100%を設定している。

#### ④ 生徒の授業における英語による言語活動時間の割合（%）

平成 27 年度の結果を踏まえ、平成 28 年度は高等学校の目標値を 53%、中学校の目標値を 80%に設定し、取り組んだ。平成 29 年度は、平成 28 年度の結果を踏まえ、高等学校の目標値を 65%、中学校の目標値を 85%に掲げ、授業改善・指導力向上研修の充実を図る。ペア・ワークやグループワーク等を含めて、生徒が英語で言語活動をしている時間の、1 単位時間の授業に占める割合の増加を図る。

#### ⑤ パフォーマンステストの実施状況

平成 29 年度の「スピーキングテスト」及び「ライティングテスト」については、高等学校及び中学校ともに、テストの総合計数を全学科数で除した値の目標値を「5」に掲げ、取り組む。

今後、指導に必要な英語力を身に付けさせる研修を一層充実させるとともに、外部機関との連携を図り、「話すこと」及び「聞くこと」における外国語（英語）表現の能力を評価するパフォーマンステストの実施回数を増やす。

#### ⑥ 英語担当教員の授業における英語使用状況（%）

現状を踏まえ、平成 29 年度は高等学校の目標値を 100%、中学校の目標値を 80%に設定し、取り組む。英語担当教員が授業において発話をおおむね、あるいは半分以上を英語で行うことができるよう、今後は、教員を対象とした外部検定試験の受験を支援していくなど、教員の英語力向上研修の充実を図る。さらに、授業改善・指導力向上研修を充実させ、どの科目においても英語の使用割合を増やす。

#### ⑧ 英語担当教員に対する研修実施回数

平成 28 年度は、高等学校教員を対象に延べ 115 回の研修を実施し、延べ 2,629 名が受講した。また、中学校教員を対象に延べ 106 回の研修を実施し、延べ 2,341 名が受講した。

平成 29 年度は、高等学校教員を対象に延べ 115 回の研修実施及び延べ 3,700 名の受講を、中学校教員を対象に延べ 136 回の研修実施及び延べ 5,000 名の受講を目標として、研修機会と内容の充実に取り組む。

### (2) 小学校

#### ⑧ 小学校教員に対する研修実施回数

平成 28 年度は、小学校教員を対象に延べ 118 回の研修を実施し、延べ 3,118 名が受講した。平成 29 年度は、小学校教員を対象に延べ 140 回の研修実施及び延べ 4,600 名の受講を目標として、研修機会の拡大と内容の充実に取り組む。

### (3) 研修の体系と内容の具体

#### 1 研修の体系と内容の具体

##### (1) 中央研修の研修内容の着実な普及

- ① 中央研修の研修内容の普及率を高めるために、従来の英語教育推進リーダーによる還元研修を実施することに加え、新たに所属校においてのみ還元できる教員、中学校 20 名、高等学校 20 名を育成する。そのために、中・高等学校の英語担当教員を対象とした、「外部機関と連携した中央研修に準ずる内容の研修」を実施し、所属校において還元できるリーダーを育成する。所属校において還元できるリーダーが各学校の英語科教員と研修内容を共有することで、域内における

中央研修の研修内容の普及率を高める。

「中央研修に準ずる内容の研修」は、通所研修と学校における授業実践、研修生のアンケート、講師からのフィードバックのPDCAを繰り返し行う。最後に、校内や地域で公開授業を行うことで修了とする。また、修了した所属校のみに還元できるリーダーによる還元研修を受けた英語科教員も、最後に公開授業を行うことで、還元研修を受講したこととみなす。

- ② 研修協力校における英語教育の実践と東京都の英語教育の状況を踏まえた目標管理と関連付けて分析を行う。各校2回行う公開授業・協議を、中央研修の研修内容と研修協力校の分析の両方に関連付けることで、都内全体の教員の指導力と児童・生徒の英語力の向上を図る。

## (2) 教員の英語力・指導力向上

大学等と連携した研修を実施し、教員に求められる英語力の向上（資格取得、授業を行うのに必要な力）と英語教育の今日的課題を解決するための指導力向上を図る。

教員の資格取得のための研修では、英検準2級～1級取得、TOEIC Listening、Reading スコア 730 又は 860 達成を目標とし、研修受講後に受験する。受験予定者数は、905 名を予定している。

## 2 平成 29 年度計画

	平成 29 年度
開設講座数（研修実習含）	66
受講予定数	4,710
連携機関等	下記記載のとおり
英語資格取得試験	受験予定者数 905

## 3 具体的な研修内容

研修名	受講対象	目的・内容	研修回数	受講予定数	連携機関等
外国語活動Ⅰ	小・特	具体的な教材や授業展開、基本的な指導法、学習評価について学ぶ。	3	70	津田塾大学
外国語活動Ⅱ	小・中・特	教科化を見据えた外国語活動の指導法を理解し、授業づくりの具体的な展開について学び、外国語活動の指導力の向上を図る。	2	250	文部科学省及び大学等
英語ⅠA	中・特	中学校学習指導要領の目標及び内容等を理解し、中学校における基本的な授業展開や指導法、学習評価について学ぶ。	3	70	大学等
英語ⅠB	高・特	高等学校の学習指導要領の目標及び内容等を理解し、基本的な授業展開や指導法、学習評価について学ぶ。	3	35	大学等
英語ⅡA	中・特	4技能を育成する指導法や授業づくりについて、実践を通して学び、中学校英語の指導力の向上を図る。	2	120	津田塾大学
英語ⅡB	中・特	中学校における英語教育の今日的課題とこれからの指導の在り方について理解し、小学校や高等学校との	3	70	上智大学

		円滑な接続を図る指導について学び、中学校英語の指導力の向上を図る。			
英語ⅡC	高・特	高等学校における英語教育の今日的な課題とこれからの指導の在り方について理解し、中学校や大学との円滑な接続を図る指導について学び、高等学校英語の指導力の向上を図る。	3	70	上智大学
英語ⅢA	中・特	中学校における効果的なネイティブ・スピーカーの活用や授業の工夫などについて学び、英語教育を推進する力を高める。	2	35	大学等
英語ⅢB	中・特	海外派遣者の実践報告等を通して、TESOL等の指導法を学び、英語教育を推進する力を高める。	2	35	大学等
英語ⅢC	高・特	JET等のネイティブ・スピーカーの効果的な活用や授業の工夫などについて学び、高等学校における英語教育を推進する力を学ぶ。	2	250	大学等
英語ⅢD	高・特	海外派遣者による実践報告等を通して、TESOL等の指導法を学び、英語教育を推進する力を高める。	2	315	大学等
還元研修 (38講座)	小・中・ 高・特	英語教育推進リーダー中央研修受講者による研修実習(還元研修)により、中央研修の内容の全都への還元を図る。	266	950	平成26・27・28年度 英語教育推進リーダー 中央研修受講者
英語ⅢF	小・中・ 高	英語教育推進リーダー等による授業公開により、中央研修の成果の全都への普及を図る。	2	180	研修協力校
英語ⅢG	中・高	「中央研修に準ずる内容の研修」を実施し、中央研修の研修内容の全都における普及率を高める。	7	40	国際文化交流機関等
英語力向上 (ガイドA)	高	東京の史跡等を巡って、英語でガイドをするポイントを学び、東京を英語で案内できる高校生ボランティア「東京イングリッシュガイド」を育成する力を高める。	5	50	外部専門機関
英語力向上	高	東京の歴史を英語で紹介す	5	50	外部専門機関

(ガイドB)		るポイントを学び、東京を英語で案内できる高校生ボランティア「東京イングリッシュガイド」を育成する力を高める。			
英語力向上 (集中A)	小・特	外国人講師等との英語による会話等を通して、実践的な英語力を高める。	4	325	外部専門機関
英語力向上 (カフェA)	小・特	カフェテリア形式で外国人講師との会話等を通して、実践的な英語力を高める。	6	120	外部専門機関
英語力向上 (検定A)	小・特	英語検定試験準2級を取得することを目標として、実践的な英語力を高める。	5	130	外部専門機関
英語力向上 (検定B)	小・特	英語検定試験2級を取得することを目標として、実践的な英語力を高める。	5	90	外部専門機関
英語力向上 (集中B)	中・特	外国人講師等との英語による会話等を通して、実践的な英語力を高める。	6	90	外部専門機関
英語力向上 (カフェB)	中・特	カフェテリア形式で外国人講師との会話等を通して、実践的な英語力を高める。	6	90	外部専門機関
英語力向上 (検定C)	中・高・特	英語検定試験準1級を取得することを目標として、実践的な英語力を高める。	7	410	外部専門機関
英語力向上 (検定D)	中・高・特	英語検定試験1級を取得することを目標として、実践的な英語力を高める。	7	215	外部専門機関
英語力向上 (集中C)	高・特	外国人講師等との英語による会話等を通して、実践的な英語力を高める。	6	45	外部専門機関
英語力向上 (カフェC)	高・特	カフェテリア形式で外国人講師との会話等を通して、実践的な英語力を高める。	6	45	外部専門機関
英語力向上 (検定E)	中・高・特	TOEIC 730 点以上を取得することを目標として、実践的な英語力を高める。	5	30	外部専門機関
英語力向上 (検定F)	中・高・特	TOEIC 860 点以上を取得することを目標として、実践的な英語力を高める。	5	30	外部専門機関
英語力向上 (ENGLISH SCHOOL)	小・特	外国人講師等と小グループで楽しくコミュニケーションする体験を通して、英語の授業に必要な表現を学ぶ。	2	500	外部専門機関
研修評価方法	以下の3段階により評価する。 ○1段階(反応)				

	<p>受講者アンケート、受講記録により、受講者の研修満足度を評価する。</p> <p>○2段階（学習） 受講者アンケート、所属校でのヒアリング等により、受講者の研修のねらいの達成度を評価する。</p> <p>○3段階（行動） 受講者アンケート、所属校でのヒアリング等により、受講者の行動変容や学校への普及・還元度を評価する。</p> <p>また、大学等との連携研修については、受講者が研修受講後に受験する英検、TOEIC Listening、Reading等の英語力評価テストの結果からも評価する。</p> <p>上記の評価結果に基づき、次年度の研修計画を構築していくPDCAサイクルにより、研修内容等の改善を進めていく。</p>
--	---

## (4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度英語教育推進リーダー中央研修受講者の推薦</li> <li>平成26・27・28年度英語教育推進リーダー中央研修受講者による研修実習（還元研修）の受講者の募集・決定</li> <li>外国語活動Ⅰ・Ⅱ及び英語Ⅰ～Ⅲの受講者の募集</li> </ul>	
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26・27・28年度英語教育推進リーダー中央研修受講者による研修実習（還元研修）の開始</li> <li>外国語活動Ⅰ・Ⅱ及び英語Ⅰ～Ⅲの受講者の決定</li> </ul>	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部専門機関との連携研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際文化交流機関等</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語活動Ⅰ・Ⅱ及び英語Ⅰ～Ⅲの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携大学等</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部専門機関との連携研修の実施</li> <li>外国語活動Ⅰ・Ⅱ及び英語Ⅰ～Ⅲの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際文化交流機関等</li> <li>連携大学等</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27・28年度英語教育推進リーダー等による授業公開の実施（小学校・中学校・高等学校：各1回）</li> <li>外部専門機関との連携研修の実施</li> <li>外国語活動Ⅰ・Ⅱ及び英語Ⅰ～Ⅲの実施（授業研究含）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修協力校等</li> <li>国際文化交流機関等</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部専門機関との連携研修の実施</li> <li>外国語活動Ⅰ・Ⅱ及び英語Ⅰ～Ⅲの実施（授業研究含）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際文化交流機関等</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27・28年度英語教育推進リーダー等による授業公開の実施（小学校・中学校・高等学校：各1回）</li> <li>外部専門機関との連携研修の実施</li> <li>外国語活動Ⅰ・Ⅱ及び英語Ⅰ～Ⅲの実施（授業研究含）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修協力校等</li> <li>国際文化交流機関等</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語活動Ⅰ・Ⅱ及び英語Ⅰ～Ⅲの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部専門機関等</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部専門機関との連携研修の実施</li> <li>外国語活動Ⅰ・Ⅱ及び英語Ⅰ～Ⅲの実施</li> <li>教職員研修センターで実施した研修の動画配信の開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際文化交流機関等</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度英語教育推進リーダー中央研修受講者の募集</li> </ul>	
3月		
【その他の取組】		

